

「自分の命は自分で守る」 (副読本 p40~41 高砂中防災ノート 使用)

1 ねらい

- ①自分の命は自分で守るということ（自助）について、実践的活動を通して理解する。
- ②かけがえのない自分の命の大切さを見つめ、どのようにして災害から身を守るかについて、具体的に起こり得る場面を考えさせ実践的な能力を育てる。

3 展開例

学 習 活 動	留 意 点
<p>1 地震から身を守るために</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>副読本 p40 資料①, ②の写真の場面には、どんな危険が潜んでいるでしょうか。また、どのように行動することが適切か考えてみましょう。</p> </div> <p>危険→・ガスの火・なべの味噌汁 ・ガラス 行動→火を消す・なべから離れる・ガラスの下を避ける 防災ノート p5~6 学校で起こりうる危険と身の守り方 A 授業中 B 休み時間中 C 放課後 D 登下校中 の項目について考えられる危険と身の守り方についてノートに記入する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>副読本 p40 資料③, ④の写真の場面では、どこに危険が潜んでいるでしょうか。どのように行動することが適切か考えてみましょう。</p> </div> <p>危険→自動販売機, 瓦, 電線, 車, ブロック塀, バイク, 看板, 窓ガラス 行動→離れる 避ける 防災ノート p10~11 P11について2~3か所程度のケースを考え記入してみる</p> <p>2 津波から身を守るために</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>副読本 p41 津波から身を守るためには、日頃からどんなことを確認しておくといでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップで安全な地区をチェックしておく。 ・地震が起きたらすぐ避難をする。 <p>防災ノート p15~16 津波の危険性がある場合①高い建物に避難 ②東部道路より西に逃げることを津波防災マップで確認する</p> <p>4 「正しく恐れる」の意味について考える。</p>	<p>配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の体験した状況を予めきちんと把握しておく(親兄弟を亡くした・仮設住宅等で生活している)。 ・PTSD 等の不安や課題がある場合は無理に学習しない ・不安や課題がある場合は、無理に学習しない(保健室で対応) <p>準備物 3・11 副読本 高砂中学校版「防災ノート」 学習形態 一斉・グループ</p> <p>○A~Cの居場所の項目が多いので、1~2か所選ぶ班ごとに場所を割り振って考えさせてもよい。</p> <p>○自動販売機, 瓦, 電線, 車, ブロック塀, バイク, 看板, 窓ガラスなど様々な危険を予知させる。</p> <p>○自分たちの地域について考えることで実践的な態度を身に付けさせる。</p> <p>○用語としては知っていても、確かな知識として理解されていないことが多いので、本文中の問題等を活用して定着を図る。</p> <p>○<u>p15~16の資料が、生徒の被災等で扱いが難しい場合は防災ノートに触れない。</u></p> <p>○副読本の問いについてみんなで考えさせる。 補助資料を用いて確認させる。</p>
<p>【指導後の振り返り】 防災学習や防災訓練の中で、当時の被災した場面を思い出す生徒が約40名おり(6月アンケート)、中には3・11副読本の津波被災等の写真を見ると不安を感じる生徒もいた。心のケアを意識しながら、指導の振り返りを進めていく必要がある。</p>	